

・大規模改修工事終了まで保存してください

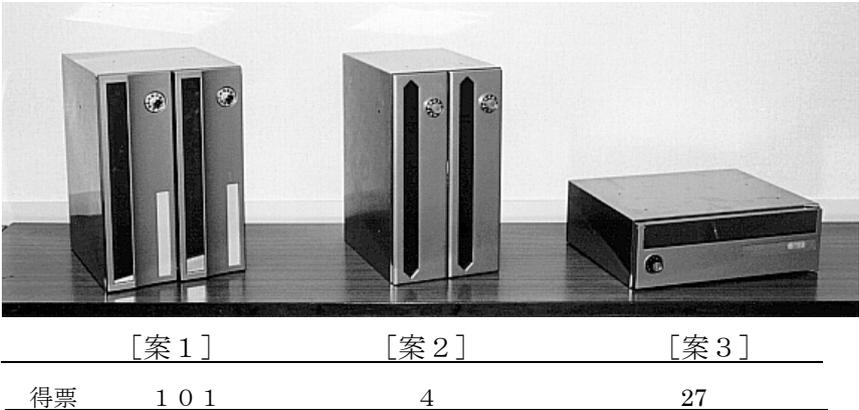
美しい貳番街 (No.13, 平成8年10月17日)

コープ野村南流山貳番街管理組合・大規模修繕委員会

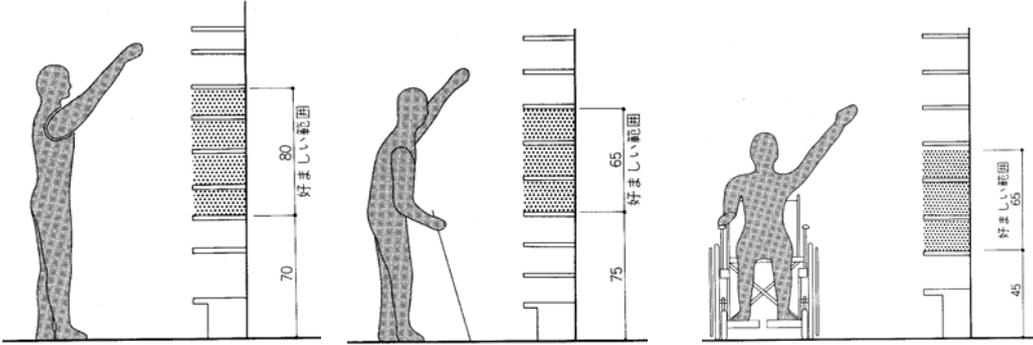
1. 「集合郵便受・表札」のアンケート結果の報告

上記のアンケートにつきまして全世帯数 259 に対して 132 のご回答をいただきました (回答率 50.9%)。どうもありがとうございます。この結果を報告します。

(1) 集合郵便受け 案1となりました。



【縦型についての補足説明】



荒木兵一郎・藤本尚久・田中直人：「図解バリアフリーの建築設計」, p.94, 1995, 彰国社

図1 利用しやすい棚の高さ

縦型の集合郵便受けの推薦について説明が十分でなかったため、質問がありましたので補足説明いたします。

健常者が利用しやすい収納棚の高さは 70～150cm, 杖使用者が利用しやすい高さは 75～140cm, 車いす使用者が利用しやすい高さは 45～110cm の範囲といわれます (図1)。集合郵便受けも収納棚と同様に高さを考慮する必要があります。図2は案1の縦型の集合

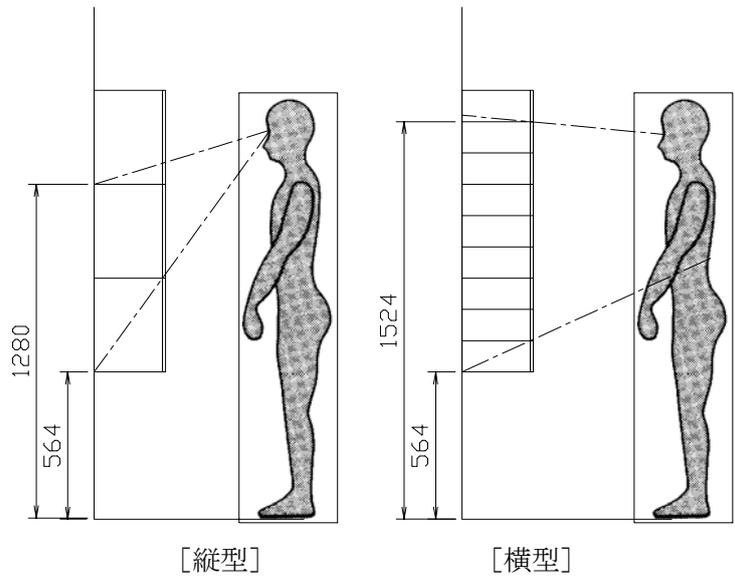


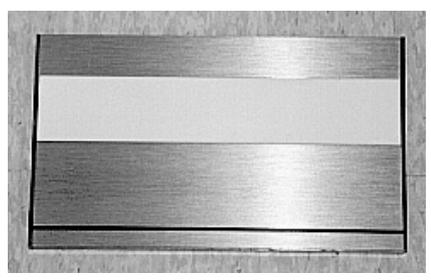
図2 集合郵便受けの形状と内容物を見る視線の関係

郵便受け3段と、案3の横型の集合郵便受けを9段（現在の数を確保するのに必要な段数）として横型とした場合を示したものです。この場合、横型では最上段が152cmの高さとなり、上部の棚を利用する方が取り出しにくいといった状況も発生します。

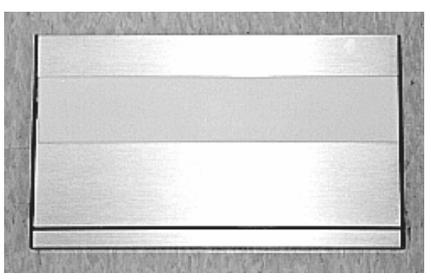
また、利用者の視線の高さについても考慮する必要があります。図2は160cmの身長の人が棚の中を見た場合の視線を一点鎖線で示したものです。これからわかりますように、縦型の場合では立ったままの姿勢で投函物が確認できるのに対して、横型では最上段の棚の上が見えず、また、最下段ではしゃがまないとやはり投函物が完全には見えません。また、最下段の投函物を取り出すのに縦型では軽く腰を曲げて腕を伸ばせば奥の物も取り出せるのに対して、横型では深く腰を折らないと取り出せません。

このような人間工学的な知見と現状の集合郵便受けの設置スペースからくる制約について検討を行い「美しい式番街(No.12)」の内容を提示しました。

(2) 表札 案1となりました。



[案1 ブロンズ調]



[案2 アルミ生地色]

得票 1 2 2 1 0